

(広報資料)

平成24年2月24日

建設局

担当：建設企画部建設企画課
電話：222-3551

平成23年度京都市公共事業評価の対応方針の策定について

京都市では、平成10年度から、本市の公共事業の実施過程をより透明なものとし、予算等を効率的に執行するため、事業の各段階（事前、事中、事後）において評価を実施しています。事業着手後、一定期間経過した公共事業について、その進ちょく状況や社会情勢の変化を踏まえた「再評価」と、事業完了後の事業効果の確認を行い必要に応じて改善措置を検討する「事後評価」について、学識経験者等で構成する「京都市公共事業評価委員会」の意見を聴いたうえで本市の対応方針を定め、その結果を公表しています。

この度、平成23年度における対応方針を下記のとおり策定しましたので、お知らせします。

記

1 再評価

種 別	補単	事 業 名	対応方針
街路事業	補	西小路通	「事業継続」
街路事業	補	I・Ⅲ・25 鴨川東岸線（第二工区）	「事業継続」
道路事業	補	一般国道162号（栗尾バイパス）	「事業継続」
道路事業	単	城南宮道	「事業継続」
河川事業	補	七瀬川	「事業継続」
住宅地区改良事業	補	三条鴨東地区	「事業継続」
合計		6 事業	

＊「補」は国庫補助事業、「単」は京都市単独事業を示す。

2 事後評価

種 別	補単	事 業 名	対応方針
街路事業	単	葛野西通	「今後の事後評価、改善措置とも不要」
街路事業	単	大原通	「今後の事後評価、改善措置とも不要」
合計		2 事業	

＊「補」は国庫補助事業、「単」は京都市単独事業を示す。

(参考)

■資料の公開について

別添の「平成23年度京都市公共事業評価 対応方針」は、2月27日から総合企画局情報化推進室情報公開コーナーにおいて閲覧できます。

京都市公共事業評価委員会委員名簿

(任期：平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

敬称略・五十音順

氏 名	役 職 等
○荒川 あらかわ 朱美 あけみ	京都造形芸術大学 環境デザイン学科教授
おおやま おおやま 大山 おさむ 理	大阪工業大学 工学部都市デザイン工学科准教授
おくたに おくたに 奥谷 かをる かをる	京都商工会議所女性会理事
かわうら かわうら 川浦 あきひこ 昭彦	同志社大学大学院 政策学部教授
◎小林 こばやし 潔司 きよし	京都大学経営管理大学院長
さえき さえき 佐伯 ひさこ 久子	京都市地域女性連合会副会長
とくひさ とくひさ 徳久 きょうこ 恭子	立命館大学法学部法学科准教授
とくら とくら 十倉 よしかず 良一	京都新聞社論説委員長

◎：委員長 ○：副委員長